

第4学年復興教育指導案（平成28年11/10）

九戸村立伊保内小学校

1 目 標

- (1) 被災地との交流を持ち、共に生きる気持ちと人生観を育成する活動をもつ。
- (2) 自ら考え行動するコミュニケーション能力を育成する。
- (3) 他を思いやる気持ちの育成から、自分自身を見つめる心情の育成を図る。

2 単元計画（9時間）

- (1) 3年生の時の被災地仮設住宅交流活動を思い出し、中里地区の方々と交流計画を立てる。
(チラシ作り、交流内容の相談等、1時間)
- (2) 訪問活動の練習をする。(グループで)・・・(1時間)
- (3) 中里地区交流活動をする。(6時間)
- (4) 振り返り活動をする。(1時間)

3 訪問活動計画（3～9時間目、雨天実施）

段階	時間	学 習 活 動	指導上の留意点
準備	8:15	1 昇降口集合	○村バス ○事前にトイレを拝借するの お願い をしておく。
	8:30	2 学校出発	
	9:45	3 野田村道の駅着 (1)トイレタイム	
活動	10:00	4 野田村・中里地区公民館 (1)中里地区公民館を訪問する。 ○地域の方と交流をし、コミュニケーションの 取り方を学ぶ。	○社会福祉協議会・大 ^{おおた} 平さんに随 行してもらう。 ○事前指導の中で確認した訪問の ねらいを思い出しながら訪問活 動をする。 ○会話から、被災者の立場や様子 に触れさせるようにする。
	11:15	○ゲームや野田村クイズ・紙芝居などをしな がら言葉をかわせるようにする。	
	11:30	5 現地出発	
ま と め	11:45	6 野田村道の駅着 (1)トイレタイム	○村バス
	13:00	7 学校到着	

4 評 価

- (1) 地震で大きな津波の被害に遭い、家を失った野田村の住人の方々が、工夫して生活をしている
ことを知ることができたか。または、思い出すことができたか。
- (2) 野田村に住んでいる方々に、励ますためのチラシを届けたり、交流を通して、出会いを喜び合
うことができたか。
- (3) 自分の行動が、人のために役立っていることを感じる事ができたか。